当湯治場を事つくる

tou ji ba wo tsu ku ru

2026.12.11金

17:00_19:00 足湯の一般開放

19:00_22:00 トーク

崇仁市営住宅9棟1階空き店舗107号室

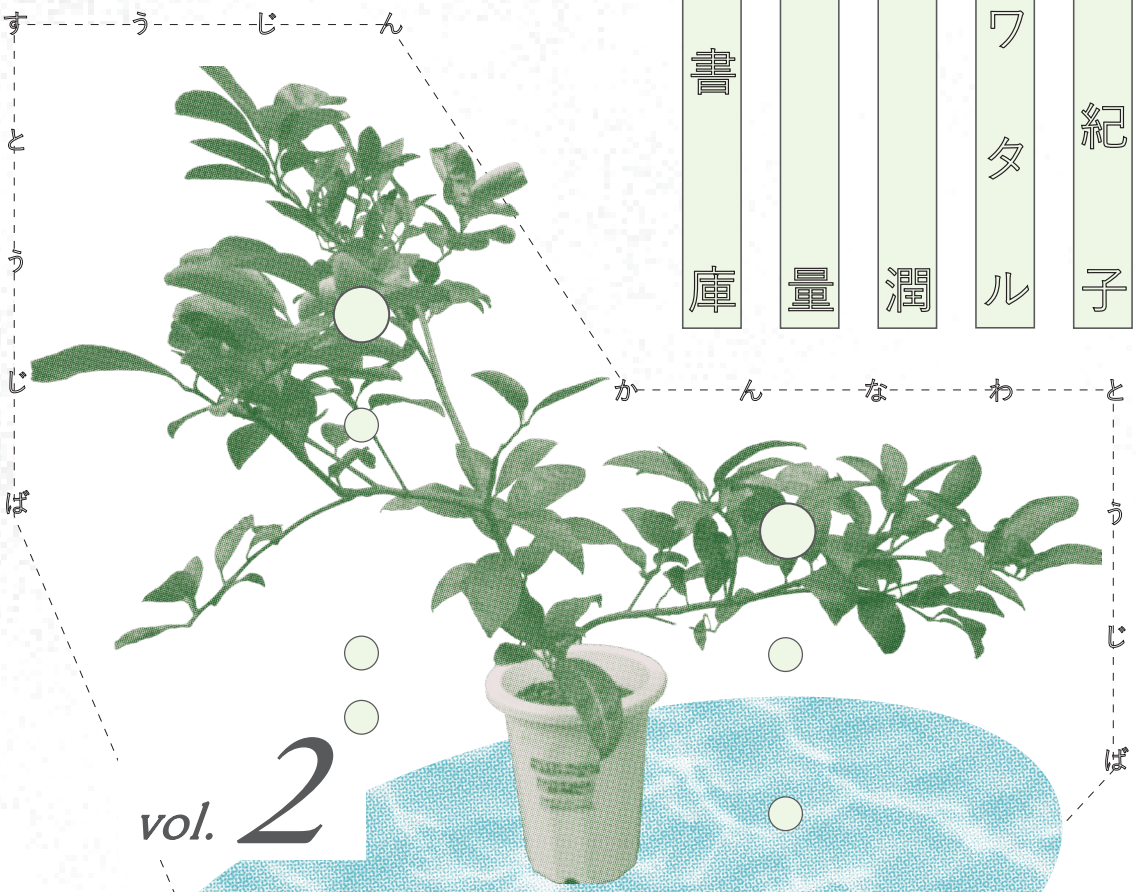
山本麻紀子

アサダワタル

高橋潤

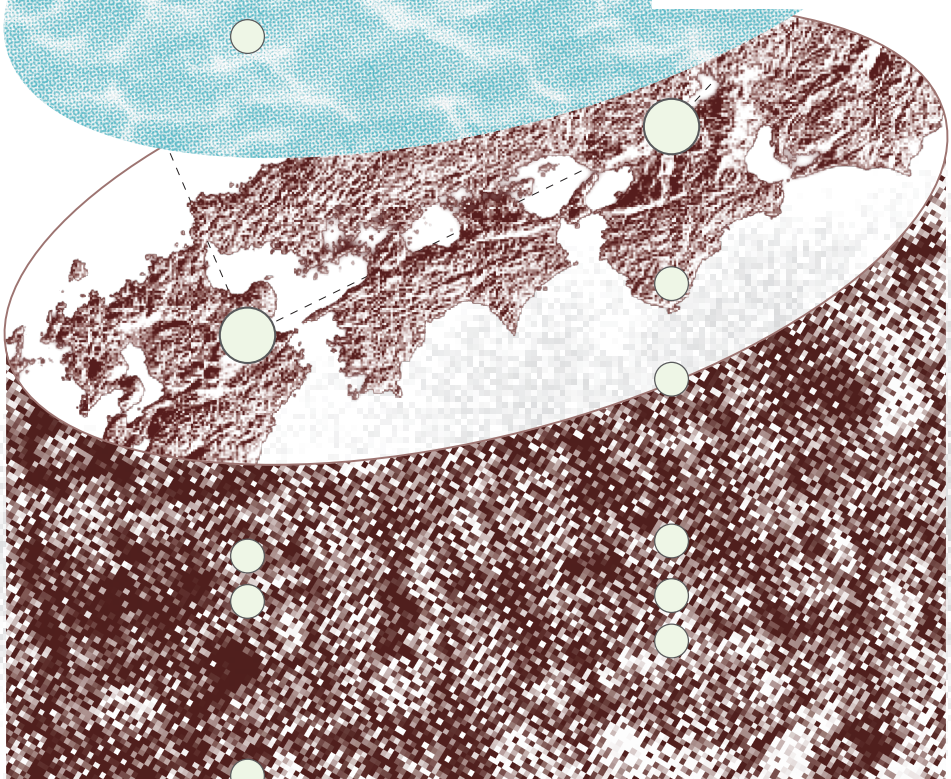
米田量

共同書庫



vol.2

崇仁で、足をひたす



初めにダジャレがあった

ワタルは「当事場」という言葉をつくった
マキコは鉄輪温泉という「湯治場」と出会った
どちらも「とうじば」と読む
そこから企画が芽を出した

「湯治場に当事場をつくる」
第一回目の企画者である
マイアミさんの言葉より



撮影：片山 雄貴
描画：HAYS



比較：CoBase（https://cobase.nich.go.jp/）を加工

「湯治場に当事場をつくる」は、2026 年 4 月 24 日に京都市中京区の共同書庫で開催されました。そして次は、京都市下京区にある崇仁市営住宅 9 号棟に舞台を移します。崇仁地域にゆかりのある時宗の開祖・一遍上人は、大分県別府市の鉄輪（かんなわ）を訪れ、噴気が立ちのぼる荒れ狂った土地を念仏で鎮め、蒸し湯をつくったことから鉄輪温泉という湯治場を開いたといわれています。一方、崇仁地域にはかつて 3 つの市営浴場があり、人々の健康を支えるだけでなく、住民同士がつながり、日々の暮らしを分かち合う場となっていました。今回、崇仁市営住宅 9 号棟に足湯場をつくります。足湯場を構成するモノたちは、あちこちからこの場にやってきます。また、これから旅立とうとしているモノもあります。足湯につかりながら、『挿し木』が運んできたさまざまな物語に触れ、誰かと話したり、ただ一緒に過ごしたりする。そんな時間のなかで、それぞれの記憶や経験が、思いがけず顔を出すこともあるかもしれません。お湯が身体を温め、こわばりをほどくように、偶然の巡りあいが集まったひとりひとりの内側にある何かに届き、少しずつ再生されていくような場になればいいなと願っています。

（山本麻紀子）

山本麻紀子

京都市出身。京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻構想設計修了。「落とし物」（ロンドン）・「巨人」（水戸）・「植物」（東九条と崇仁）の世界を追いかけていたら「一遍上人」に出会いました。崇仁すくすくセンター実行委員会の代表をしています。

アサダワタル

場をつくる人。アーティスト・文筆家。音や声、言葉を手がかりに、人と人が関わり直す場を表現してきた。ケア、コミュニティ、教育、アートの現場を横断しながら、「住み開き」「コミュニティ難民」「当事場」などの概念を提唱。近畿大学文芸学部准教授。

米田量

75 年生。愛媛県出身。週に 1 回夜勤。他は有志と共に自家菜園で野菜を自給し、ときどき小さな読書会、葵リサイクルショップで月 1 の修理とお茶会など。

高橋潤

沖縄県普天間出身。京都府立大学環境デザイン学科卒業後、京都市役所に環境技術職として就職。仕事以外では役所の同期と勉強会をしたり、知り合いのリサイクルショップの手伝いをしたり、岩倉で畑をしたりしています。

共同書庫

京都市中京区の書庫＋図書室／喫茶＋企画室。言葉、芸術、そのほか私たちそれぞれの身体に合う手段を用いて、生活と社会について考え、オルタナティヴな知のあり方を模索する場所です。

日時 2026 年 12 月 11 日㊎

17:00 ～ 19:00　足湯の一般開放
事前申込は不要です。どなたでも足湯を体験していただけます。

19:00 ～ 22:00　トーク
事前申込制・定員になり次第締め切り

17:00 ～ 22:00 会場内では、「まさら屋台」による別府名産のだんご汁をご体験いただけます。（有料）

- ◇ **イベント中の出入りや、体調に合わせた途中の退場・休憩も制限はございません。**
- ◇ **足湯で足をひたさなくてもご参加いただけます。無理のない形でご参加ください。**
- ◇ **車いすをご利用の方や、その他サポートが必要な方は、お申込みの際、事前に必要なことを教えていただきますようお願いいたします。**

会場 崇仁市営住宅 9 棟 1 階空き店舗 107 号室
〒600-8203 京都市下京区屋形町 7-1

対象 どなたでも

参加費 無料

定員
17:00 ～ 19:00　足湯　なし
事前申込不要
19:00 ～ 22:00　トーク　20 名
事前申込制・定員になり次第締め切り

申込

連絡先
contact@sukusukucentre.org
崇仁すくすくセンター実行委員会

075-342-2668
崇仁デイサービスうるおい
◇10:00 ～ 17:00 ／日曜休み

主催：崇仁すくすくセンター実行委員会 協力：京都市総合企画局総合政策室（プロジェクト推進担当）／京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業